

2019年度 第1回 児童福祉専門分科会 議事録

日 時：2019年7月8日（月）16：30～17：25

場 所：明石市役所議会棟2階 大会議室

1 会議次第

- 1 開会
- 2 委員の紹介等
- 3 議事
(1) 第2期明石市子ども・子育て支援事業計画の策定について
- 4 その他
- 5 閉会

2 出席者

委員

伊藤会長 瓜生委員 松野委員 松原委員 吉川委員
大上委員 川並委員 竹内委員 津久井委員

事務局

こども局

佐野こども局長兼明石子どもセンター所長 小川こども育成部長
大津こども企画部長 北條こども局次長兼放課後児童クラブ担当課長
藤城こども育成室長 原田待機児童緊急対策室長
春田こども局次長(子ども総合支援担当) 永富明石こどもセンター副所長
田中子育て支援室長兼児童福祉課長 岸川明石こどもセンター総務課長
鈴木こども育成室利用担当課長 加藤こども育成室施設担当課長
勝見待機児童緊急対策室課長 山本こども育成室運営担当課長
岡本こども育成室運営担当係長

3 議事内容

- 1 開会
(あいさつ)
(理事者の紹介)
(会議成立の報告及び資料確認)
- 2 委員の紹介
(委員の紹介)
(職務代理者の指名)

3 議事

(1) 第2期 明石市子ども・子育て支援事業計画の策定について

会 長：それでは、次第の3番目の議事に移る。まず、資料3から資料7までを事務局から順次、説明をお願いしたい。

(事務局より資料3から7を説明)

会 長：ただいま説明いただいた資料3から資料7までについて、ご意見やご質問があればお願いします。

委 員：回答の数の推移についてお聞きしたい。資料4-2の13ページと資料6の1ページの回答数を比べると、5年前の方が多くなっている。就学前児童の回答率が、前は61%だったのに、今回は52%である。明石市に持っているイメージと逆である。関心が薄らいでいるのではないと思うのだが、何か事情があるのなら教えてほしい。

事務局：回収率についてだが、就学前児童は調査項目がかなり多い中、これだけ回収できたのはありがたく思っている。決して高い数字ではないかもしれないが、よく回収できたのではないかと考えている。

小学1年生から4年生については、1クラス単位で配付したので、クラスの人数によって全体の人数が変わってくるが、基本的には全小学校の1年生から4年生に配っており、前回と条件は変わっていない。

委 員：前よりもニーズ調査の内容がきめ細やかになったので、把握の質が高くなったのか。また、小学生は、クラスが少人数になっていることが結果に影響していると思っていいいのか。

事務局：アンケート調査については、前回とほぼ同じ内容である。特に詳細になったことによる低下ではないと考えている。小学生については、今言われたとおりと考える。

委 員：これは提案だが、小学生、幼児の保護者を対象にアンケートをしている。今は、子ども主体の時代であることから、子どもの意見を取り入れていくべきでは。経年調査なので、比較の関係もあることから、今すぐにというわけにはいかないと思うが、明石市が子どもを主体にと考えているのであれば、例えば放課後児童クラブで、子どもをどのように過ごさせたいかではなくて、子ども自身がどのように過ごしたいと考えているか聞くといったことも考えてはどうか。

会 長：また事務局で検討してもらえたらと思います。

続いて確認だが、資料6のP8からP10までの0歳から5歳の就学前児童についてお聞きしたい。定期的に利用したい教育や保育事業について、今0歳の子を持つ親は、0歳のところしか答えられないけど、1歳については、1歳になった時の希望なので、

0歳の保護者と1歳の保護者が答えているということで、順番に人数を足しているということか。

事務局：0歳の保護者は、0歳から5歳の全年齢でどの保育等を利用したいかという質問になっている。1歳の保護者は、0歳の時にどう過ごしていたかは聞いておらず、将来にわたってどんな保育等を利用したいかということを知っているから、回答の母数は年齢が上がるごとに増えている。

会 長：病児保育施設の利用希望は、他の自治体においても以前より減っている。明石市も同様である。これは、職場の理解が進んでいるという影響であるからか。何か分析はしているのか。

事務局：具体的な分析はできていないので、想像の域は出ないが、そのように企業の理解が進んでいる側面もあると考える。

委 員：子育て支援センターの利用は活況なのか。利用者数が5年前に比べて1.5倍近くになっているが、利用していない人も過半数いる。一方で、今後の利用意向というところで、新たに利用したいとは思わないという方がいる中で、これは十分満足していて、利用している人は満足度が高いから、これ以上なくてもいいということであればいいのだが、箱物ではなく、また別のものがほしいということなのか。今回の会議は結果報告のみで、次回の会議で評価ということを知っているが、数字の読み方としてどう読んだらいいのか。

事務局：数字については、今言われたとおりである。施設利用について分析して、次回以降検討していけたらと考えている。

委 員：⑩は市内6カ所の子育て支援センターの利用が就学前で33.4%、P21は、同じ就学前児童で1,622人中、子育て支援センターを利用しているが65.1%になっている。これは違うところも入っているのか。このあたりもまた今度お答えいただきたい。

事務局：確認し、次回にお答えさせていただきたい。

4 その他

- (1) 保育所等認可部会及び社会的養護部会の今後の協議内容等について事務局から説明

5 閉会